

準天頂衛星システム「みちびき」サービス開始について

資料4

- 2018年11月1日、4機体制にて準天頂衛星システム「みちびき」サービスを正式に開始
- 今後、センチメートル級も含め、高精度測位情報を活用した様々なサービスの創出を推進

1. 準天頂衛星システム「みちびき」サービス開始記念式典について

日時：2018年11月1日（木）17:45～18:05
場所：赤坂インターシティエア
式次第：

- (1) 主催者挨拶 平井 卓也 内閣府特命担当大臣(宇宙政策担当)
- (2) 来賓挨拶 山下 徹 高精度衛星測位サービス
利用促進協議会(QBIC)会長
- (3) 祝辞 安倍 晋三 内閣総理大臣
- (4) セレモニー 安倍総理、平井大臣、葛西委員長等による開始
(ボタン押し)セレモニーを実施

出席者：約200名（政府関係者、民間関係者等）



式典セレモニーの様子

2. サービス開始を国民に広く知らしめるための広報活動

- (1) 新聞広告(11/1、日経5面)



- (2) JR東日本、東京メトロ車内における動画放映
(11/12-18, 19-25)

(参考) 安倍内閣総理大臣の祝辞(抜粋)

「本日、『みちびき』によって、歴史の新たなページが開かれようとしています。世界初、センチメートル級の衛星測位サービスが、近未来の社会を現実のものとしようとしています。

宇宙から大地へ。トラクターの無人走行は、苗と苗の僅かな間も真っすぐに進むことができる高い精度で、農業の生産性を飛躍的に向上させるはず。雨の日も風の日も、昼も夜も、トラクターは休みなく働き続けてくれるはずであります。

ドローンによる宅配サービスは、物流の在り方を根本から変えることでしょう。渋滞知らず、決められた時間に、どんなに密集した住宅街でも、ドア・ツー・ドアで正確に荷物が届きます。

Society 5.0の未来社会へと、私たちを導く、正にその名のおり導いてくれます。この衛星の利活用が、あらゆる分野で進んでいくことが期待されます。政府として、2023年度を目処(めど)に7機体制に拡充し、より安定した測位サービスの実現を目指してまいります。」